

指定管理者事業報告概要

施設の概要			
施設名	若木小学童保育館		
所在地	小山市若木町2丁目6番44号		
制度導入年	平成22年4月	所管課	こども課

指定管理者の概要				
指定管理者	特定非営利活動法人 小山市学童保育の会			
所在地	小山市神鳥谷232番地 ファミール思川103号			
指定期間	令和4年4月1日	～	令和7年3月31日	指定年数 3年
選定方法	指名	指定	指定期間合計	年度毎に指定管理料を算定
受託区分	更新	管理料	令和3年度	6,233,140円

運営業務の概要				
主な業務内容	児童の保育	常駐職員数		2人
	児童の入退所に係る事務	開館時間	平日	13時00分 ～ 19時00分
	施設・設備の維持管理及び軽易な修繕		土日祭日	7時30分 ～ 19時00分
	保護者負担金の徴収	休館日		日、祝日、年末年始

利用実績				
	R01	R02	R03	前年比
利用者数（人）	20	15	18	120.0%
利用件数（件）	-	-	-	-
保育料（利用料）（円）	1,930,200	1,412,500	1,886,500	133.6%

収支実績				
	R01年度決算額	R02年度決算額	R03年度決算額	前年比
収入（円）	9,884,646	9,332,054	10,952,817	117.4%
指定管理料	6,778,989	5,727,847	6,233,140	108.8%
その他収入	1,962,605	1,894,065	2,284,437	120.6%
繰越金	1,143,052	1,710,142	2,435,240	142.4%
支出（円）	7,591,391	7,677,822	8,515,946	110.9%
人件費	6,425,392	6,001,715	6,916,804	115.2%
事業費	656,677	647,023	768,854	118.8%
事務費	178,363	227,540	212,070	93.2%
維持管理費	330,959	801,544	618,218	77.1%
収支（円）	2,293,255	1,654,232	2,436,871	147.3%

利用者アンケートの結果（満足度）※ 所管課が実施・判定					
5：80%以上 4：60～80% 3：50～60% 2：30～50% 1：30%未満	利用日・時間	使用料・利用料	職員の応対	業務内容	施設・設備管理
	5	5	5	5	5

指定管理者の自己評価	
総合評価	
S：優良 A：良 B：標準 C：要改善 D：不適切	A
評価理由、今後の課題等	
職員は新型コロナウイルス感染症拡大防止に重点を置き、特に児童がマスクを外すおやつや昼食時は配慮をしながら指導を行いました。保育では子どもたちが密にならないような遊びを立案し、年間を通して楽しく過ごせるように努めました。また、それを法人クラブ内で情報共有できるようにまとめ、今後の指導方法に役立てるようにしました。施設内は手洗い場のレバーハンドルへの交換、高性能空気清浄機の設置等、少しでも安心できる環境を整えました。 以前より、昔遊びの継承として独楽回しを行っています。各自専用の独楽を持ちそれぞれ色付けをします。紐の巻き方や投げ方を上級生から学び、上達の喜びや教えるという循環を行いながら毎年レベルアップを図っています。 保護者の方にお集まり頂くことが難しくなっていますが、お便りの充実や一斉送信メール等を活用し、働く保護者のニーズに合った対応を心がけていきたいと思えます。 アンケート結果は概ね満足の評価を頂けているものと考えますが、今後ご理解頂けるよう努めて参ります。	

令和3年度実施 利用者アンケート結果の概要

施設名		若木小学童保育館
指定管理者		特定非営利活動法人 小山市学童保育の会
所管課		こども課
アンケート実施時期		R3.12.8 ～ R4.1.11
アンケート回答件数		12件
アンケート結果の総評 ・ 利用日・時間 ・ 使用料・利用料 ・ 職員の対応 ・ 業務内容 ・ 施設・設備管理 ・ その他	好評だった点	・ 指導員さんが子どもの状況を話してくれる ・ 時期に合わせたイベントや家でできないような製作をしてくださり、子どもも喜んでいる ・ 毎月おたよりを発行してくださりありがたい
	不評だった点	・ 保育料は手のかからない高学年になっても変わらないのでやや不満 ・ 夏休み28℃以上だと外遊びができないので、基準を緩和してくれると外遊びの機会が増えると思う
アンケート結果から、改善等を実施したこと（予定含む）		ほぼ満足のご回答と多くの感謝のご意見を頂き引き続き努力して参ります。保育料は小山市全体で平成28年に同一料金への見直し推奨により段階的に変更し令和4年度に全学年同一になった経緯があります。熱中症対策につきましては集団生活であることをご理解いただけるよう努めて参ります。